

- 問1 高知県における、なすなどの野菜の生産の特色を説明した文として最も適切なものを、統計資料から得られる「2月から5月に東京都中央卸売市場への入荷が集中している」という事実に基づき選択しなさい。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 広大な土地をいかし、大型機械を用いて少ない労働力で大量の作物を生産する工夫をしている。 | 2. 冬でも温暖な気候をいかし、ビニールハウスを使って他の地域よりも早く栽培する工夫をしている。 | 3. 高冷地の涼しい気候をいかし、夏から秋にかけての出荷時期を遅らせる工夫をしている。 | 4. 大消費地に近い立地をいかし、輸送費を抑えて新鮮な野菜を毎日出荷する工夫をしている。 |
|--|--|---|--|
- 問2 四国地方では2010年時点で、野菜が農業産出額の3割以上を占める主要な品目となっています。特に高知県の平野部で、黒潮（日本海流）の影響による温暖な気候を活かし、ビニールハウスなどを用いて出荷時期を早めることで高い収益を得る栽培方法を何といいますか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 二毛作 | 2. 抑制栽培 | 3. 近郊農業 | 4. 促成栽培 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問3 岡山県から山口県にかけての瀬戸内海沿岸部における工業の特色について、正しい説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 情報通信技術（ICT）を活用したソフトウェア開発や、バイオテクノロジーなどの先端産業が生産の中心となっている | 2. 自動車の組み立て工場が内陸部の広大な土地に集中し、日本最大の工業生産額を誇る工業地帯となっている | 3. 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている | 4. 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で軽量の集積回路（IC）を製造する「シリコンアイランド」が形成されている |
|---|---|---|--|
- 問4 瀬戸内海を挟むように位置する2つの山地について、北側の中国地方に連なる山地と、南側の四国地方の中央部を走る山地の名称を正しく組み合わせたものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 北側：四国山地、南側：中国山地 | 2. 北側：筑紫山地、南側：九州山地 | 3. 北側：中国山地、南側：四国山地 | 4. 北側：飛騨山脈、南側：木曽山脈 |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
- 問5 四国地方から発送される国内貨物の輸送手段は、1980年には鉄道や内航海運の割合が比較的高い状態にありましたが、2019年の統計では自動車（トラック）による輸送が全体の約5割を占めています。このように自動車（トラック）輸送の割合が拡大した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 他の輸送手段と比較して、二酸化炭素の排出量が極めて少なく環境負荷が低い。 | 2. 交通渋滞の影響を全く受けないため、都市部への配送時間が正確になった。 | 3. 高速道路網の整備が進み、産地から消費地まで迅速に直接届けことが可能になった。 | 4. 一度に大量の石炭や鉱石を長距離運ぶのに、他の手段より費用が安く済む。 |
|---|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問6 四国地方の南部に位置する高知県は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かした農業が盛んです。四国の各県の農産物収穫量を比較した統計において、高知県が約3万9000トンという数値を記録し、四国地方で最大の収穫量を誇る農作物はどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 小麦 | 2. みかん | 3. レタス | 4. なす |
|-------|--------|--------|-------|
- 問7 1990年代半ばに本州四国連絡橋が開通したことは、愛媛県などの養殖業に大きな影響を与えました。この交通網の整備が養殖マダイの生産量を増加させた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 橋の建設に伴って沿岸部の埋め立てが進み、最新の設備を備えた大規模な陸上養殖場が次々と建設されたため | 2. 橋の開通によって物流コストが大幅に削減された結果、養殖魚の販売価格を天然魚よりも安く設定できたため | 3. 陸上輸送による輸送時間が短縮され、大消費地へ鮮度を保ったまま迅速に出荷できるようになったため | 4. 本州からの観光客が自家用車で直接買い付けに来るようになり、産地直送の販売額が卸売市場を上回ったため |
|--|--|---|--|
- 問8 都道府県の統計において、面積が約1,877km²という全国最小の規模であり、果実の産出額が約8億円、製造品出荷額が2兆4,000億円を超えるといった特徴を持つ県について、その地理的説明として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 四国地方に位置し、県庁所在地である高松市を中心に都市機能や産業が集積している。 | 2. 関東地方に位置し、広大な平野を活用した農業が盛んで、面積は約6,000km ² に達する。 | 3. 近畿地方に位置し、県土の約6分の1を占める大きな湖を擁し、面積は約4,000km ² である。 | 4. 中部地方に位置し、盆地の気候を利用した果実栽培が盛んで、産出額が全国トップクラスである。 |
|--|---|---|---|
- 問9 島根県の土地利用と工業立地の関係について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 沿岸部の広大な砂丘を利用して大規模な太陽光発電所が建設され、内陸部はすべて国立公園として保護されているため工業は存在しない。 | 2. 県内全域で林業が衰退したため、跡地を利用して沿岸部から内陸部まで一貫して自動車産業の組み立て工場が誘致されている。 | 3. 沿岸部には歴史的背景から鉄鋼業が立地し、内陸部には高度な技術を要する電気機械工業の工場が進出している。 | 4. 内陸部の急峻な地形を利用した水力発電により、沿岸部には電力を大量に消費する化学工業が集中している。 |
|---|--|--|--|
- 問10 山口県的美祢市付近には、日本を代表するカルスト地形である秋吉台が広がっている。このような独特の景観が形成された理由と、その後の利用について述べた文として適切なものはどれか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. サンゴ礁などが堆積してできた石灰岩の台地が雨水で浸食されて形成され、現在はセメントの原料として石灰石の採掘も行われている。 | 2. 激しい火山活動によって噴出した溶岩が平坦に固まって形成され、現在はその広大な土地を活かして牧畜が行われている。 | 3. 海底が急激に隆起してできた砂岩の地層が波の浸食を受けて形成され、現在は国立公園として観光利用のみに制限されている。 | 4. 河川が運んできた土砂が長い年月をかけて積もって形成され、現在はその水はけの良さを活かした果樹園が広がっている。 |
|--|--|--|--|
- 問11 中国地方の瀬戸内海沿岸に位置する広島県の県庁所在地について、国の出先機関や民間企業の支店が多く集まり、その地方の政治・経済を支える役割を持つ都市の分類として最も適切なものを次から選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|-----------|-----------|--------------|
| 1. 政令指定都市（ただし、地方中枢都市ではない） | 2. 地方中枢都市 | 3. 工業指定都市 | 4. 首都圏機能分担都市 |
|---------------------------|-----------|-----------|--------------|
- 問12 四国地方の各県の産業を比較した際、徳島県にみられる特徴的な状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 第一次産業である農林水産業に従事する人の割合が、他県を圧倒して最も高い。 | 2. 観光業への特化が進んでいるため、宿泊・飲食サービス業の割合が他の産業より極端に高い。 | 3. 県内全域で商業のみが発達しており、製造業に従事する人の割合は極めて低い。 | 4. 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。 |
|---|---|---|---|